

【第2次ちば文化振興計画】令和3年度文化芸術振興施策実施報告(県実施分)

※参考:対象とする文化芸術の範囲(千葉県文化芸術の振興に関する条例より引用)

<ul style="list-style-type: none"> ・芸術 ……文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊その他の芸術(メディア芸術を除く) ・伝統芸能 ……雅楽、能楽、文学、歌舞伎その他の我が国古来の伝統的な芸能 ・芸能 ……講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱その他の芸能(伝統芸能を除く) ・生活文化 ……茶道、華道、書道その他の生活に係る文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・メディア芸術 ……映画、漫画、アニメーション、コンピューターその他の電子機器等を利用した芸術 ・国民娯楽 ……囲碁、将棋その他の国民的娯楽 ・出版物等 ……出版物及びレコード等 ・文化財等 ……有形及び無形の文化財並びにその保存技術 ・郷土芸能 ……地域固有の伝統芸能及び民俗芸能
---	---

施策の柱1 文化芸術を鑑賞・参加・創造する環境づくり ～あらゆる人々が文化芸術を享受するために～

① 県民の自主的な文化芸術活動の促進

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額(千円)	実施結果に対する評価(成果等)	特殊事項(台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
1	千葉・県民芸術祭	県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	①千葉・県民芸術祭県域文化団体行事 県域で活動する文化芸術団体による絵画や詩、俳句、川柳、写真などの分野を中心とした公募展や合唱、吹奏楽、演劇などの公演等を共催。 事業数:全24件、期間:7月20日～1月10日、場所:県立美術館・文化会館など(全県)、関係者:文化芸術団体(全23団体)、来場者(合計):一般県民等(32,675名) ②【千葉・県民芸術祭中央行事】 複数の文化芸術分野の文化団体等と連携して新たな文化芸術の発表の場を設ける。日程:10月3日(日)、場所:千葉県文化会館、関係者:(公財)千葉県文化振興財団・県域で活動する文化芸術団体等(10団体)、来場者:一般県民等(987名・入場無料)	5,261	一部行事については中止となったものの、新型コロナウイルス感染症対策を取り入れて行事を実施することができた。また、参加行事をまとめたパンフレットを作成し配付するなど、広報活動を実施し、「県民の自主的な文化芸術活動の促進」に寄与した。	①新型コロナウイルスの影響で3行事が中止となった。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
2	県立文化会館自主事業、管理運営事業	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法:公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計):378,315名 ・利用事業数(4館合計):3,507件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	645,687	県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	新型コロナウイルス感染症の影響により一部公演の中止・変更が発生した。また、公演の入場者数の制限を実施した。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
3	ちば文化交流ボックス	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数:546,749人	-	県主催事業やちばの文化、新型コロナウイルス関連の情報を提供し、文化芸術に触れる機会の提供に寄与した。	-	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
4	さわやかちば県民プラザ事業	音楽ワークショップ、東葛飾文化祭、ザ・ワールドオブプラス、クリスマスコンサート、高校生バンドフェスティバル、書のパフォーマンス発表会、さわやかアゴラコンサートなどを実施する。	県民の自主的な文化活動の促進及び文化活動の機会の提供に向けて4事業を実施した(3事業は新型コロナウイルス感染拡大のため中止)。全ての事業はさわやかちば県民プラザ主催、さわやかちば県民プラザで実施し、入場料は無料。 ①音楽ワークショップ ・概要:「柏の葉吹奏楽団」を結成し、オーケストラの体験講座を実施した。発表の場として晩秋のコンサート、新春のコンサートを実施した。・回数:練習全15回中12回実施、コンサート2回・期間:5月22日～3月5日・連携団体:千葉県吹奏楽連盟、柏の葉吹奏楽団・来場者:団員、一般県民(1218人) ②東葛飾文化祭:中止 ③ザ・ワールドオブプラス:中止 ④クリスマスコンサート ・概要:県内の小中高等学校、特別支援学校の吹奏楽部が日ごろの練習の成果を発表した。・日程:12月11日(土曜日)・来場者:発表関係者(248名) ⑤高校生バンドフェスティバル ・概要:県内の高校生バンドが演奏を披露するコンサートを実施した。・日程:12月25日(土曜日)、26日(日曜日)・来場者:一般県民(145人) ⑥書のパフォーマンス発表会:中止 ⑦さわやかアゴラコンサート ・概要:日曜のお昼に県民プラザ利用者等によるコンサートをアゴラで行った。・回数:全5回中3回実施・期間:6月27日(日曜日)、10月24日(日曜日)、12月19日(日曜日)・来場者:一般県民(114人)	381	参加者自らが創り上げる文化活動を支援するとともに、文化活動が多くの人々に触れる場となるよう広報も工夫した。	新型コロナウイルス感染拡大のため中止した講座があった。実施した講座においては入場者制限を行い、3密にならないよう十分に注意して対策を講じた。	教育庁 生涯学習課
5	県立美術館・博物館事業	5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数:529,110名	932,099	千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	-	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課

② 様々な場における文化芸術にふれ親しむ機会の提供

No.	事業名	事業概要	令和3年度			担当部署名	
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)		特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)
6	県立文化会館自主事業・管理運営事業	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法:公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計):378,315名 ・利用事業数(4館合計):3,507件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	645,687	県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	新型コロナウイルス感染症の影響により一部公演の中止・変更が発生した。また、公演の入場者数の制限を実施した。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
7	県立美術館・博物館事業	5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数:529,110名	932,099	千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	-	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
8	県立美術館展覧会事業(再掲)	千葉県ゆかりの作家・作品の展示公開、及び県内美術団体の展覧会、移動美術館の開催する。	①【ちば文化発信事業特別展】 美術館において「日本文化の華 大相撲展」を開催。 (期間:1月16日～3月21日、場所:美術館、臨時休館につき入場者:0名) ②【千葉からはばたく新世代アート展】 千葉県ゆかりの新進芸術家「100%ORNGE オレンジ・ジュース」の作品を紹介予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止(令和3年度に延期) (当初予定期間:6月9日～7月12日、場所:美術館) ③【アート・コレクション展】 テーマごとに県立美術館の所蔵作品を紹介。 (事業数:全10件、場所:美術館、期間:4月1日～3月31日、入場者数:32,254名) ④【移動美術館】 県民に質の高い芸術鑑賞の機会を提供するため、県内の文化施設等を会場に、県立美術館収蔵作品を展示。 (期間:9月29日～10月11日、場所:成田市文化芸術センター、入場者:739名)	20,442	移動美術館や新進芸術家を含む千葉県ゆかりの作家を紹介することにより、幅広い世代が芸術文化にふれ親しむ機会を提供することができた。	臨時休館(1月13日～3月22日)	教育庁 文化財課
9	県民芸術劇場	県民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供するため、千葉交響楽団の公演を県内各地で行う。	・時期:通年 ・公演数:25公演(中止公演は含めていない) ・会場:県内の文化ホール等25	13,340	県民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供した。	新型コロナウイルスの影響により、合計12公演が中止となった。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
10	千葉交響楽団による活動等	千葉県のプロ・オーケストラである千葉交響楽団に対し、運営費の一部を補助することにより、県民に親しまれるオーケストラとして定着させるとともに、本県の音楽文化の振興に資する。	・主催公演:4公演(定期演奏会2回、特別演奏会2回) ・依頼演奏会:18公演 ・アウトリーチ活動:7公演	23,812	子どもたちの文化芸術活動の充実や、高齢者・障害のある人等の文化芸術活動の充実に寄与した。	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、公演の中止や延期、一公演あたりの収容客数の減少が生じた。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
11	千葉文化交流ボックス(再掲)	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数:546,749人	-	県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	-	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
12	千葉県上下流交流事業水源地紹介	県内のイベントにて、ハッ場ダムの水源地である群馬県長野原町の紹介及び郷土芸能(上州應桑関所太鼓)の披露をして、千葉県民の水源地に対する理解と交流を深める。	新型コロナウイルスの影響により、例年参加している「四街道市産業まつり」が中止となり、県内における同様のイベントについても開催の目処が立たないことから、令和3年度は中止とした。	-	中止のため、特になし	新型コロナウイルスの影響により、中止	総合企画部 水政課
13	全日本中学生水の作文コンクール	「水の日」の趣旨にふさわしい事業の一環として次代を担う中学生を対象に「水について考える」をメインテーマに作文コンクールを行う。	県内各地から1,031編の応募があり、最優秀賞1編、優秀賞3編、奨励賞1編、学校賞5校を選定した。 (主催者:水循環政策本部・国土交通省・千葉県) 1. 作品募集 募集テーマ:「水について考える」、募集対象者:県内在住・在学の中学生、募集期間:3月1日～5月7日、応募数:1,031編 2. 表彰 新型コロナウイルス感染防止対策により、入賞者を招いての式典は行わず、賞状の朗読等の様子をDVDに収録し、賞状・副賞と併せて入賞者に送付した。	92	作文の応募数が増加し、「県民の自主的な文化芸術活動の促進」に寄与した。	新型コロナウイルスの影響により、入賞者を招いての式典は行わず、賞状の朗読等の様子をDVDに収録し、賞状・副賞と併せて入賞者に送付した。	総合企画部 水政課

No.	事業名	事業概要	令和3年度				
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	担当部署名
14	千葉県男女共同参画フェスティバル	本県の男女共同参画社会づくりに向けた機運を高めるため、「千葉県男女共同参画フェスティバル」では、県の男女共同参画の推進拠点として、講演や県内で男女共同参画の推進に向けて活躍する民間団体による体験講座を実施し、県民が楽しみながら男女共同参画への理解を深められるよう、民間団体と交流を行う。	「千葉県男女共同参画フェスティバル」の開催 1月22日 13時から15時 基調講演「すべての女性が楽しめるスポーツへ」 会場: Zoomウェビナー 1月8日、9日 10時から16時 パネル展「今日はちょっと考える日に！ だんじょきょうどうさんかくとは？」 会場: イオンモール幕張新都心 グランドモール3階 イオンホール	456	新たな取り組みとして、大型商業施設において、民間団体から募集したのも加えたパネル展を実施した。来場者には、これまでにない若い家族連れが多く、パネルを見た後でアンケートにも答えてもらうことで、男女共同参画について考えるきっかけづくりになった。	新型コロナウイルス感染症による影響等	総合企画部 男女共同参画課
15	千葉県歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール	県内公立小中学校及び特別支援学校・学級の児童・生徒を対象に、歯・口の健康に関するポスターを募集し、表彰することによって、口腔保健に関する正しい知識を普及啓発し、県民の健康の保持増進に寄与する。	1. 作品募集 テーマ: 歯・口の健康に関するポスター 対象・応募数: 小学校低学年647点、小学校高学年643点、中学校305点、特別支援学校・学級91点 2. 審査会(7月8日)	-	- 小学校低学年、高学年、中学校の部: 各部門県知事賞1名、県教育長賞1名、県歯科医師会長賞1名 特別支援学校・学級の部: 県教育長賞3名、県歯科医師会長賞3名	-	健康福祉部 健康づくり支援課
16	心の輪を広げる障害者理解促進事業	障害者に対する国民の理解の促進を図るため、国民を対象に「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を公募する。	1. 作品募集 ・対象: 【作文】小学生・中学生・高校生・一般(4区分) 【ポスター】小学生・中学生(2区分) ・募集期間: 7月1日～9月3日 ・応募数: 【作文】44作品、【ポスター】4作品 2. 表彰 ・各区分ごとに、最優秀賞1名、優秀賞1名、社会福祉法人千葉県身体障害者福祉協会理事長賞1名以内をそれぞれ表彰 ※例年11月に実施している表彰式は中止 ・最優秀賞作品は内閣府へ推薦	-	- 多くの方に作品を応募いただき、障害者に対する理解を得ることができた。	表彰式が中止となった。	健康福祉部 障害者福祉推進課
17	薬物乱用防止啓発ポスター募集	薬物乱用防止啓発に用いるポスターの募集を行う。	ポスター募集は中止し、別の方法で啓発ポスターを作製した。 隔年で作成しているため、令和4年度における実施の予定はない。	-	-	-	健康福祉部 薬務課
18	若年層対策献血啓発事業	中高生から献血啓発ポスターの募集を行う。	目的: 若年層の献血の意識付け テーマ: 献血啓発ポスター 対象: 県内中学校・高等学校に在学中の生徒 応募数: 中学生304点、高校生27点	187	-	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、昨年度同様、千葉県献血感謝のつどいにおける表彰式を中止した。	健康福祉部 薬務課
19	愛鳥週間事業(千葉県愛鳥週間ポスターコンクール)	鳥獣保護思想の奨励・普及啓発を図るため、ポスターコンクールを実施する。	【千葉県愛鳥週間ポスターコンクール】 1. 作品募集 ・応募作品数: 約850点 ・対象: 県内の小・中・高等学校等 2. 審査・展示等 審査会(7月)、表彰式(中止)、入賞作品の展示(8月～)	755	ポスターコンクールを通じて、鳥獣保護思想の普及啓発を図り、また環境保全への関心を広く理解してもらうため、入賞作品を展示した。	新型コロナウイルス感染症による影響のため、表彰式が中止となった。	環境生活部 自然保護課
20	千葉県環境月間ポスター作品募集	環境保全に関するポスター作品を募集し、入賞作品を表彰し公表するとともに、啓発資料等に活用する。	1. 作品募集 ・募集期間: 令和2年4月～10月28日 ・応募作品: 936点 2. 審査会 ・日程: 令和3年1月18日 ・入賞: 82点 ・審査員: 学識経験者等 3. 展示 ・外部での展示: 令和3年6月5日～6月13日 ・県庁での展示: 令和3年6月15日～6月21日 4. 表彰式は中止	193	環境保全に対する県民意識の高揚と知識の普及を図られた。	表彰式を中止した。	環境生活部 循環型社会推進課
21	国産花きイノベーション推進事業(令和元年度～次世代国産花き確立推進事業)	県産花植木を活用した生け花や日本庭園の展示、植木伝統樹芸実演会の開催などにより、生産技術の向上と県産花植木の魅力の発信を図る。	県産植木を活用した日本庭園ディスプレイ(R4.2.17～23 イオンモール成田) 生け花ディスプレイ(R4.1.25～30 そごう千葉店)	11,830	県産の植木や花きを使い、伝統的な日本庭園や生け花を展示することで、日本の伝統文化に触れる機会を創出した。	伝統樹芸実演会等の一部の展示・イベントが中止となった。	農林水産部 生産振興課

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
22	千葉県建築文化賞	安全で快適な建築空間の創出や環境負荷低減などに優れた建築物の普及啓発のため、千葉県建築文化賞を開催し、優良建築物の表彰を行う。ホームページ、ポスター、パンフレット等により作品の募集を行い、その表彰結果を紹介するなど、建築文化や居住環境に対する県民の意識の高揚を図る。	1. 作品募集 募集部門：一般建築物の部、住宅の部、募集期間：7月1日～9月30日 作品応募数：53作品 2. 審査結果 最優秀賞2点、優秀賞4点、入賞2点、計8点を表彰した。	982	県の機関や鉄道会社等に募集ポスターや受賞作品紹介パネルの展示を依頼するなど広報活動に力を入れ、より多くの人々が県内のすばらしい建築作品に触れ、文化活動に参加し発表する機会を提供した。	新型コロナウイルス感染症による影響で、表彰式が中止となった。	県土整備部 建築指導課
23	さわやかちば県民プラザ事業(再掲)	音楽ワークショップ、東葛飾文化祭、ザ・ワールドオブプラス、クリスマスコンサート、高校生バンドフェスティバル、書のパフォーマンス発表会、さわやかアゴラコンサートなどを実施する。	県民の自主的な文化活動の促進及び文化活動の機会の提供に向けて4事業を実施した(3事業は新型コロナウイルス感染拡大のため中止)。全ての事業はさわやかちば県民プラザ主催、さわやかちば県民プラザで実施し、入場料は無料。 ①音楽ワークショップ ・概要：「柏の葉吹奏楽団」を結成し、オーケストラの体験講座を実施した。発表の場として晩秋のコンサート、新春のコンサートを実施した。・回数：練習全15回中12回実施、コンサート2回・期間：5月22日～3月5日・連携団体：千葉県吹奏楽連盟、柏の葉吹奏楽団・来場者：団員、一般県民(1218人) ②東葛文化祭：中止 ③ザ・ワールドオブプラス：中止 ④クリスマスコンサート ・概要：県内の小中高等学校、特別支援学校の吹奏楽部が日ごろの練習の成果を発表した。・日程：12月11日(土曜日)・来場者：発表関係者(248名) ⑤高校生バンドフェスティバル ・概要：県内の高校生バンドが演奏を披露するコンサートを実施した。・日程：12月25日(土曜日)、26日(日曜日)・来場者：一般県民(145人) ⑥書のパフォーマンス発表会：中止 ⑦さわやかアゴラコンサート ・概要：日曜のお昼に県民プラザ利用者等によるコンサートをアゴラで行った。・回数：全5回中3回実施・期間：6月27日(日曜日)、10月24日(日曜日)、12月19日(日曜日)・来場者：一般県民(114人)	381	参加者自らが創り上げる文化活動を支援するとともに、文化活動が多くの県民に触れる場となるよう広報も工夫した。	新型コロナウイルス感染拡大のため中止した講座があった。実施した講座においては入場者制限を行い、3密にならないよう十分に注意して対策を講じた。	教育庁 生涯学習課
24	県立図書館事業	①県民への情報提供、図書の貸出・返却及び資料管理を的確かつ迅速に行うため、電算処理による図書館情報システムを導入し、円滑な運用を図る。 ②県民の読書や調査研究活動の支援と市町村立図書館等への協力・援助のために、書籍の収集整備をする。 ③子どもへの本の読み聞かせや読書の重要性について一層の理解を深めてもらうため、読み聞かせのボランティア活動を行う方などを対象に、子どもの本の読み聞かせについての講座を開催するほか、特別支援学校に対し、おはなし会や運営相談等の読書支援を実施する。 ④県民が身近な市町村立図書館等を通じて県立図書館及び他の市町村立図書館の資料が利用できるよう、県内公共図書館間に情報と物流のネットワークを構築して運用している。また、高等学校・特別支援学校には、資料搬送車や宅配便による資料の貸出しを行っている。	①図書館情報システムの運用 電算処理によるシステム(平成29年11月更新)を活用し、個人や図書館等への貸出、蔵書管理、所蔵資料情報の公開等を継続して行い、円滑に運用している。 ②書籍の収集整備 市町村立図書館等では購入しづらい専門書や参考書を中心に11,300冊を購入整備した。 ③-1 読み聞かせボランティア入門講座 ・期間：5月30日、10月23日・回数：2回・場所：九十九里町,我孫子市 ・参加者(合計)：一般県民等(36名) ③-2 特別支援学校訪問読書支援 ・期間：通年・回数：17校・場所：各特別支援学校 ・参加者(合計)：特別支援学校教職員・児童・生徒等(936名) ④図書館ネットワークの構築・運用 県内図書館や県立学校等へ図書館ネットワークを通じて202千冊の貸出しを行った。	132,103	①図書館情報システムを導入することで、次のような利用実績があった。 ・ホームページのアクセス数：361,949件 ・Web予約件数：75,185件 ②収集した図書について、次のような利用実績があった。 ・個人貸出冊数：128,989冊 ・図書館等への協力貸出：91,990冊 ③地域の子どもや特別支援学校児童生徒の読書環境向上に寄与することができた。 ④ 県内図書館や県立学校等へ図書館ネットワークを通じて202千冊の貸出しを行うことにより文化振興に寄与した。	③-1 感染症拡大防止のため、会場定員の半分以下の人数を募集した。 ③-2 感染症拡大防止のため訪問を中止した学校に対しては、絵本の貸出しや利用促進のための案内の送付を行った。	教育庁 生涯学習課
25	ちばアクアラインマラソン開催事業	スポーツを通じ千葉が有する様々な魅力を発信するために東京湾アクアラインを活用した事業でランナーへのおもてなし等に文化芸術を活用する。	「ちばアクアラインマラソン2022」の開催に向けて、「基本計画」、「大会要項」及び「募集要項」を決定し、大会開催への準備を整えた。	55,752	準備年のため未実施	-	環境生活部 スポーツ・文化局生涯スポーツ振興課
26	ギャラリー「二つ返事」	循環器病センター内のギャラリーに芸術品(絵画・書道・押し花・陶芸・写真等)を展示する。	【ギャラリー「二つ返事」】 循環器病センター内のギャラリーに芸術品(絵画・書道・押し花・陶芸・写真等)を展示する。 ・事業数：全1件 ・場所：2階多目的ホール前ギャラリー展示スペース ・関係者：文化芸術団体(全1団体) ・展示内容：書道 ・来場者：患者	-	全11団体中1団体の展示を半月単位で行った。	全11団体中10団体から新型コロナウイルス拡大の懸念から展示の中止の申し出があった。	病院局 循環器病センター
27	県警音楽隊派遣	要請により、小・中学校、その他各種イベント会場に音楽隊を派遣し、演奏を通じた警察広報を行う。	新型コロナウイルス感染防止のため例年よりだいぶ少ないが派遣日数45日、式典、カラーガード隊のドリル演技など合計101回の演奏を行った。	-	子どもから大人まで親しみやすい音楽を演奏し効果的な警察広報を実施することができた。	-	警察本部
28	県警音楽隊金曜コンサート	4月から10月(7～8月を除く。)までの間の金曜日に、千葉市内で演奏を行う。	新型コロナウイルス感染防止のため実施を見送った。	-	-	当初、開催を計画していたが蔓延防止措置のため中止とした。	警察本部

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
29	県警音楽隊定期演奏会	演奏を通じて県民とのふれあいを深め、警察活動に対する県民の理解と協力を得るために、演奏会を行う。	11月20日(土)に午前の部、午後の部1日2回演奏を実施し入場希望者が定員を上回ったため抽選を行った。入場定員にあっては新型コロナウイルス感染防止対策のため実際の入場定員の50%前後になるよう調整した。	853	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催規模は縮小したものの、警察広報を通じ幅広い層の県民が文化芸術に親しむ機会を提供できた。	-	警察本部
30	千葉県議会議場演奏	県民文化の向上発展に資するため、議場内において演奏を行う。	実施なし ※当行事は4年に1回程度の頻度で実施を検討している。	-	-	-	議会事務局

③ 子どもたちの文化芸術活動の充実

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
31	若者の文化芸術活動育成支援事業	若者による創造的な文化芸術活動に対し補助し、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行おうとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。	「若者の文化芸術活動育成支援事業補助金」申請内容を審査し、補助金を交付した。 ・補助対象事業の実施期間:6月1日～2月28日 ・補助対象:40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費:2/3以内(上限20万円) ・補助金交付団体数:【申請数】7団体7事業/【交付数】5団体5事業	994	5団体5事業が実施され、県民に様々な分野の文化芸術に触れる機会を提供し、また、文化芸術の発表の機会を設けることにより、文化振興に寄与した。	新型コロナウイルス感染症の影響で、1団体が事業中止となった。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
32	学校音楽鑑賞教室	次代の文化を担う児童・生徒を対象として、質の高い演奏に触れる機会を提供するため、千葉交響楽団による巡回公演を実施する。	・時期:通年 ・公演数:36公演 ・巡回先:県立高等学校1校、県内公立小・中学校35校	11,084	次代の文化を担う児童・生徒に質の高い演奏に触れる機会を提供した。	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、公演の中止や延期が生じた。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
33	伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業	小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。	・内容:洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期:通年 ・派遣先:県内小中学校26校 (洋楽:5校/伝統芸能(能楽8校・雅楽7校・三曲6校):21校)	3,903	例年より体験を縮小し鑑賞や説明の時間を増やすなど、新型コロナウイルス感染防止を踏まえた内容で実施した。	新型コロナウイルスの影響で1校分が中止となった(雅楽1校)	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
34	千葉県少年少女オーケストラ育成事業	(公財)千葉県文化振興財団の行う少年少女オーケストラ育成事業に対し補助することにより、次代を担う少年少女の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図る。	・指導者を招聘し、定期的に練習を行った。 ・前年度実施した公演の動画配信を実施した。 ・8月にアキラさんの大発見コンサートを千葉県文化会館及び東総文化会館で開催し、東総文化会館での公演の様子を館山市でライブビューイングを実施した。11月に千葉県文化会館で秋のふれあいコンサートに出演し、3月に第26回定期演奏会を千葉県文化会館で開催した。	36,734	次代を担う少年少女の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図った。	入場者数の制限を実施した。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
35	子どもの読書活動の推進	「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)」に基づき、乳幼児期からの読書活動を推進し、子どもが自主的に読書に親しむことができる環境の整備を進めていく。主な取組として、読み聞かせや家庭読書のさらなる普及を目指し、リーフレットの作成・配付や「子ども読書の集い」の開催などの啓発活動を行う。また、公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。	○リーフレットの作成・配付 概要:家庭における読書を啓発するための資料(リーフレット)の作成・配付 期間:令和3年8月 配付先と部数:乳幼児47,765枚、小学校1年生48,235枚 ○子ども読書の集い 概要:子どもの読書活動への関心を高めるとともに、その意義や重要性について理解を深め、家庭・地域や学校における子どもの読書活動の推進を目指す。 期間:令和3年5月15日(土) 場所:千葉県文化会館小ホール 主催:千葉県教育委員会 来場者:一般県民45名 ○学校図書館・公立図書館連携研修会 概要:学校図書館を活用した授業の推進や子どもの読書活動の推進のため、学校図書館と公立図書館の効果的な連携の在り方について考える。 期間:令和3年10月1日(金)～令和4年1月7日(金)場所:オンライン ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響で動画配信に変更 主催:千葉県教育委員会 視聴者数:学校図書館及び公立図書館関係者685回	661	学校図書館・公立図書館連携研修会については、開催方法に変更が生じたが、動画配信にしたことで、県内の多くの学校図書館・公立図書館関係者に視聴してもらうことができ、学校図書館と公立図書館の効果的な連携の在り方を考えるきっかけづくりができた。また、リーフレットの作成・配付や子ども読書の集いの開催を通じて、子どもの読書活動の啓発を行うことができた。	学校図書館・公立図書館連携研修会については、新型コロナウイルス感染症による影響で、対面での開催から動画配信へと開催方法を変更した。	教育庁 生涯学習課
36	高等学校文化連盟補助	国や県の教育施策等に基づき、高校生の文化活動の向上・発展及び普及振興を図るため、千葉県高等学校文化連盟に補助金を交付する。	以下の事業が補助金の対象である。 ①千葉県高等学校総合文化祭開催事業(参加18,248人) 演劇、合唱、吹奏楽、放送、写真、美術・工芸、将棋等 ②全国高等学校総合文化祭派遣事業(364人) ③全国大会・関東大会派遣事業(180人) ④講習会・研修会開催事業(313人) ⑤専門部会・理事会開催事業(500人)	4,500	千葉県高等学校総合文化祭の開催及び全国高等学校総合文化祭への派遣等の補助を実施し、生徒が文化芸術に触れる機会を創出した。	-	教育庁 学習指導課

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
37	「授業に役立つ県立博物館」プロジェクト	県立博物館が保有する研究成果を活用した学習キットを製作し、学校に貸出し等を行い、授業を支援する。	学習キットの貸出による学習支援を行った。 ・貸出先: 県内学校等117件 ・学習キットの種類: 美術館5種類、中央博物館4種類、中央博物館大根分館1種類、中央博物館大多喜城分館1種類、現代産業科学館3種類、関宿城博物館4種類、房総のむら2種	97	県立博物館が保有する研究成果を活用した学習キットを製作し、学校に貸出し等を行い、授業を支援することにより、「子どもたちが文化芸術に触れ親しむ機会の提供」「学校教育における文化芸術活動の充実」に寄与した。	-	環境生活部 スポーツ・文化局 文化振興課
38	出土文化財管理活用事業	発掘調査で出土した実物資料等を用い、出張展示・出前授業・体験学習指導等を実施するとともに出土品を利用した学習キットを作成し、特別支援学校への配付と配付済のキットをメンテナンスする事業。	出土文化財を活用した出前授業・体験学習等を実施した。(76件: 小学校35件/中学校2件/特別支援学校3件/公民館等15件/学童等11件/イベント3件/貸出し7件(うち通年3件)) 作成した学習キットを必要な特別支援学校に配布し、配布済みの小学校向け学習キットのメンテナンスをおこなった。	3,822	前年度に比べ回復傾向にあるが、コロナ前の水準には至っていない。	出張等事業要望自体はコロナ前の水準に戻りつつある。	教育庁 文化財課
39	県警音楽隊派遣(再掲)	要請により、小・中学校、その他各種イベント会場に音楽隊を派遣し、演奏を通じた警察広報を行う。	新型コロナウイルス感染防止のため例年よりだいぶ少ないが派遣日数45日、式典、カラーガード隊のドリル演技など合計101回の演奏を行った。	一	子どもから大人まで親しみやすい音楽を演奏し効果的な警察広報を実施することができた。	-	警察本部

④ 高齢者・障害者等の文化芸術活動の充実

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
40	文化プログラム関連イベント事業	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○千葉・県民音楽祭 一般公募による参加者とプロオーケストラ「千葉交響楽団」が共演する一般参加型コンサートを実施する。	世代や障害の有無に関わらず、様々な方が共にステージを作り上げる一般参加型コンサート「千葉・県民音楽祭」を開催。公募したアマチュア演奏家や地域で活動する団体、千葉交響楽団などのプロアーティストが共演。オーケストラ演奏、合唱、ダンス、音楽活動を行う障害のある方々によるステージのほか、プロのアーティストによるステージなど、多様な音楽を披露した。 ・出演者: 千葉交響楽団・プロアーティスト(ダンサー、邦楽囃子方、テノール歌手等)・楽器演奏者・県内障害者団体・合唱団体・ダンス団体 ・日程・会場: 6月20日、千葉県文化会館 ・当日ライブ配信、アーカイブ配信(8月12日～10月30日)も実施 ・来場者: 814名 ・当日ライブ配信・アーカイブ配信 視聴者数: 1,820名	15,571 (全額繰越)	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、座席収容率を制限する一方、より多くの方に視聴していただけるようオンライン配信を実施し、障害の有無を超えた音楽やちば文化に触れる機会を提供した。 ・より多様なコンテンツとなるよう、ダンス団体の公募を追加したほか、ゲスト出演のプロアーティストも義足のダンサーや邦楽演奏者等を招いた。	座席の収容率を65%程度にして実施した。	環境生活部 スポーツ・文化局 文化振興課
41	特別支援学校巡回コンサート	プロのオーケストラによる質の高い優れた演奏を、コンサート会場に出向くことが困難な特別支援学校の児童・生徒に広く提供するため、千葉交響楽団による巡回公演を実施する。	・時期: 通年 ・巡回先: 県内特別支援学校10校(中止公演は含めていない)	7,806	特別支援学校10校での公演を開催し、コンサート会場に行くのが困難な児童・生徒に優れた音楽鑑賞の機会を提供した。	新型コロナウイルスの影響により、8校での公演が中止となった。	環境生活部 スポーツ・文化局 文化振興課
42	千葉・県民芸術祭	県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	①千葉・県民芸術祭県域文化団体行事 県域で活動する文化芸術団体による絵画や詩、俳句、川柳、写真などの分野を中心とした公募展や合唱、吹奏楽、演劇などの公演等を共催。 事業数: 全24件、期間: 7月20日～1月10日、場所: 県立美術館・文化会館など(全県)、関係者: 文化芸術団体(全23団体)、来場者(合計): 一般県民等(32,675名) ②【千葉・県民芸術祭中央行事】 複数の文化芸術分野の文化団体等と連携して新たな文化芸術の発表の場を設ける。 日程: 10月3日(日)、場所: 千葉県文化会館、関係者: ((公財)千葉県文化振興財団・県域で活動する文化芸術団体等(10団体)、来場者: 一般県民等(987名・入場無料)	5,261	一部行事については中止となったものの、新型コロナの感染症対策を取り入れて行事を実施することができた。また、参加行事をまとめたパンフレットを作成し配付するなど、広報活動を実施し、「県民の自主的な文化芸術活動の促進」に寄与した。	①新型コロナの影響で3行事が中止となった。	環境生活部 スポーツ・文化局 文化振興課
43	千葉県生涯大 学校管理運営事業	県内5学園の運営を通して、高齢者の社会活動を支援するための学習機会を提供するとともに、生きがい・健康・仲間づくりに資する。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1年間休校	163,082		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1年間休校	健康福祉部 高齢者福祉課
44	千葉県福祉ふれあいプラザ管理運営事業	「ふれあいホール」の運営を通して、高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の機会を提供する。	「ふれあいホール」の運営 高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の提供 ・令和3年度年間利用者数: 44,780人	93,000	高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の場を提供した	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用人数の制限を行ったため、利用者数は減少した。	健康福祉部 高齢者福祉課

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
45	千葉県身体障害者作品展覧会	県内の身体障害者が自らの趣味やリハビリ活動の中でその技術を活かして制作した作品を公開展示して、障害者の積極的な自己表現の場を提供し、自立への大きな活力とするとともに、県民の障害者への理解を広める。	作品展の開催 ・日程:10月19日～24日 ・場所:千葉県立美術館 ・応募者数:88名 作品数:156点	239	多くの人に鑑賞・応募いただき、県民の障害者への理解を広めることができた。優秀作品11点については、知事賞や教育長賞等を授与した。	-	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
46	手をつなぐ作品展事業	心身障害児・者に対する正しい知識と理解を促進するとともに、心身障害児・者の福祉の向上を図るため、県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に障害に関する作文を募集し、優秀作品を表彰する。また、併せて優秀作品をまとめた作品集を作成し、関係機関に配布する。	作品展の開催 ・作品募集:8月2日～11月1日まで ・審査会(入賞者決定):12月10日 ・表彰式:2月27日 入賞作品集を作成し、県内小・中・高・特別支援学校、関係機関に配布した。また、千葉県肢体不自由児協会のホームページや機関誌にて、入賞者及び作品を公開した。 出品校:14校 応募作品総数:162点	230	多くの児童及び生徒に応募いただき、県民の障害者への理解を広めることができた。優秀作品11点については、知事賞や教育長賞等を授与した。	-	健康福祉部 障害者福祉推進課
47	障害者芸術文化活動普及支援事業	障害のある人や障害福祉サービス事業所等の芸術文化活動(美術及び舞台芸術)を支援する「障害者芸術文化活動支援センター(支援センター)」を設置し、障害のある人の自立と社会参加の促進を図る。	【支援センター】 ・事業期間:4月1日～3月31日 ・実施事業:県民相談(77件)、障害当事者や支援者向けの人材育成研修(申込組数:189組) ・展覧会等:3月15日～20日(展示作品数:56点)	7,016	展覧会について、初めて表現活動に取り組む施設にも取り組みやすい内容の公募展にし、作品を募集したところ、初めて表現活動に取り組めて良かった、書きためていた詩を初めて発表できて良かったとの声があった。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、人材育成研修についてはオンラインで実施した。直接会って相談を受けることや、現場の見学、美術館・コンサート等の鑑賞活動の実施が難しかった。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
48	ギャラリー「二つ返事」(再掲)	循環器病センター内のギャラリーに芸術品(絵画・書道・押し花・陶芸・写真等)を展示する。	【ギャラリー「二つ返事」】 循環器病センター内のギャラリーに芸術品(絵画・書道・押し花・陶芸・写真等)を展示する。 ・事業数:全1件 ・期間:7月16日～7月30日 ・場所:2階多目的ホール前ギャラリー展示スペース ・関係者:文化芸術団体(全1団体) ・展示内容:書道 ・来場者:患者	-	全11団体中1団体の展示を半月単位で行った。	全11団体中10団体から新型コロナウイルス拡大の懸念から展示の中止の申し出があった。	病院局 循環器病センター

施策の柱2 地域文化の保存・継承・活用による地域づくり ～あらゆる地域で地域文化が息づくために～

⑤ 伝統文化にふれる機会の提供

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
49	伝統的工芸品産業振興事業	県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧の作成やホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉工匠具の振興計画実施のための費用を助成 (5)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉工匠具の全国・関東規模の伝統的工芸品展への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施	・千葉県伝統的工芸品を1品新規指定(「南総竹細工」) ・千葉県伝統的工芸品一覧作成(1万部印刷し市町村や物産館等に配付) ・国指定伝統的工芸品(房州うちわ)の振興計画実施費用を助成 ・全国及び関東規模の伝統的工芸品展に、房州うちわが参加 ・千葉県指定伝統的工芸品展を2月11日(金・祝)～13日(日)の3日間、イオンモール八千代緑が丘にて開催	4,181	令和2年度は新型コロナウイルスの影響で展示販売会を実施できなかったが、令和3年度は開催することができ、千葉の文化芸術を身近で見てもらい、広く周知する機会となった。	-	商工労働部 観光企画課
50	食のおもてなし力向上事業	2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、国内外からの観光客のさらなる増加が見込まれる中、食に関しての魅力ある観光地づくりとおもてなし力の向上を図るため、本県ならではの食の魅力として「郷土料理」に着目し、観光客が本県の誇る郷土料理を知り、味わえる環境づくりを進める。	「ちばの郷土料理」の魅力をより多くの方に知っていただくため、ちばの郷土料理の魅力や、郷土料理を扱う飲食店・直売所など30店舗を掲載したパンフレットを令和4年1月15日から、県内の道の駅などで配布するとともに、県HPに掲載した。	2,312	千葉の食文化である郷土料理の認知度向上が図られた。	-	農林水産部 流通販売課

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
51	ちばの食育活動促進事業	市町村、関係団体、ちば食育サポート企業、ちば食育ボランティア等との連携・協働による広報・啓発活動や体験活動による食育推進運動の展開を図る事業。ちば食育ボランティアには、郷土料理の伝承のための活動を行っている方々も含まれている。	・リーフレット類の作成と配布や、県内10地域における活動交換会の開催、食育ボランティアに対する研修会等を行った。 ・啓発リーフレットの作成・配付:6種類 ・地域食育活動交換会の開催(オンライン・書面開催):10地域 ・ちば食育ボランティア研修会(オンライン):2回	2,930	食育ボランティア等の活動の中には、郷土料理や地域の農林水産物について学ぶ機会となっているものもある。	-	農林水産部 安全農業推進課
52	水産物消費・食育対策事業	おさかな普及員の派遣、食育実習の情報提供及び魚食普及パンフレットの作成・配布を行い、魚食普及を通じて「食育」を推進する。	①要望のあった県内の高等学校の料理教室に、講師としておさかな普及員を派遣した。(派遣回数:7回) ②学校給食への県産水産物の提供に合わせて魚食普及パンフレットを配布した。 ③栄養士を対象とした調理講習会へ、県産水産物を提供し、魚食普及を図った。	588	①アジを食材として用いて、千葉県産の郷土料理である「なめろう」や「さんが焼き」の伝承に努めた。 ②水産業や地域の特色ある魚に関する県民の理解を深め「千産千消」を推進するための資料を配布し、県民に広く地魚の食べ方や選び方の普及を行った。 ③栄養士を対象とした調理講習会へ、県産水産物を提供し、魚食普及を図った。	①新型コロナウイルス感染症の影響で、料理教室の実施を自粛する学校があった。 ②新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントの中止が相次ぎ、魚食普及パンフレットの配布機会が減少した。 ③新型コロナウイルス感染症の影響で、栄養士を対象とした調理講習会が動画配信での開催となった。	農林水産部 水産課
53	房総の郷土芸能	県内の獅子舞や神楽等の民俗芸能の公開事業。	①「房総の郷土芸能2021」の開催 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止 ②山梨県「関東ブロック民俗芸能大会」への団体派遣 ・日程:11月7日 ・会場:YCC県民文化ホール ・派遣団体:「大塚ばやし保存会」 ③「かずさの国風あげフェスタ2021」の開催 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止 ・風あげ動画を作成し、インターネット配信した	623	令和2年度はコロナ対策のため事業を中止したが、令和3年度は、一部の事業について、動画作成等の代替事業を実施することができた。	新型コロナウイルス感染拡大を受けて、郷土芸能の練習ができないため、実演が困難となった。	教育庁 文化財課
54	郷土食体験事業	関宿城博物館において「鷹菜漬け」「そば打ち」などの体験事業を行う。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった。	-	新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった。	環境生活部 スポーツ・文化局 文化振興課

⑥ 伝統文化の保存・継承、担い手の育成

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
55	伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業(再掲)	小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。	・内容:洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期:通年 ・派遣先:県内小中学校26校 (洋楽:5校/伝統芸能(能楽8校・雅楽7校・三曲6校):21校)	3,903	例年より体験を縮小し鑑賞や説明の時間を増やすなど、新型コロナウイルス感染防止を踏まえた内容で実施した。	新型コロナウイルスの影響で1校分が中止となった(雅楽1校)	環境生活部 スポーツ・文化局 文化振興課
56	伝統的工芸品産業振興事業(再掲)	県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧の作成やホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉工匠具の振興計画実施のための費用を助成 (5)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉工匠具の全国・関東規模の伝統的工芸品展への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施	・千葉県伝統的工芸品を1品新規指定(「南総竹細工」) ・千葉県伝統的工芸品一覧作成(1万部印刷し市町村や物産館等に配付) ・国指定伝統的工芸品(房州うちわ)の振興計画実施費用を助成 ・全国及び関東規模の伝統的工芸品展に、房州うちわが参加 ・千葉県指定伝統的工芸品展を2月11日(金・祝)～13日(日)の3日間、イオンモール八千代緑が丘にて開催	4,181	令和2年度は新型コロナの影響で展示販売会を実施できなかったが、令和3年度は開催することができ、千葉の文化芸術を間近で見てもらい、広く周知する機会となった。	-	商工労働部 観光企画課

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
57	「ちばの花植木産地」パワーアップ事業	植木伝統樹芸士・銘木100選の選定や花植木の消費拡大・販売促進などを行う。	千葉県伝統樹芸士の認定:1名 千葉県植木銘木100選の認定:5本	208	伝統的な樹芸技術の継承を図るとともに、卓越した樹芸技術によって仕立てられた植木を銘木として認定することで植木振興に役立てた。	-	農林水産部 生産振興課
58	房総の郷土芸能(再掲)	県内の獅子舞や神楽等の民俗芸能の公開事業。	①「房総の郷土芸能2021」 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止 ②山梨県「関東ブロック民俗芸能大会」への団体派遣 ・日程:11月7日 ・会場:YCC県民文化ホール ・派遣団体:「大塚ばやし保存会」 ③「かずさの国風あげフェスタ2021」の開催 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止 ・風あげ動画を作成し、インターネット配信した	623	令和2年度はコロナ対策のため事業を中止したが、令和3年度は、一部の事業について、動画作成等の代替事業を実施することができた。	新型コロナウイルス感染拡大を受けて、郷土芸能の練習ができないため、実演が困難となった。	教育庁 文化財課
59	千葉県無形民俗文化財連絡協議会	国・県指定の無形民俗文化財保持団体を会員とする団体で、「房総の郷土芸能」、特定ジャンルの民俗芸能上演会の公開事業や会報の発行等の事業を実施。	・指定無形民俗文化財の実施スケジュール等を掲載した会報を発行した。 ・「松戸の万作踊り」の記録映像作成を実施した。	202	計画通り動画作成を行った。	-	教育庁 文化財課
60	郷土食体験事業(再掲)	関宿城博物館において「鷹菜漬け」「そば打ち」などの体験事業を行う。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった。	-	新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった。	環境生活部 スポーツ・文化局 文化振興課

⑦ 文化財の保存整備の支援

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
61	文化財保護審議会	文化財指定のための調査・審議、諮問に対する答申、既指定文化財の保存状況調査・保存管理に係る指導助言を行う。	・審議会をリモートにより年4回開催し、文化財調査結果の報告、審議を行った。 ・教育委員会が県指定文化財の指定について審議会に諮問し、指定の答申を受けた。 ・有形文化財(考古資料)「鬼高遺跡出土品」、「恩田原遺跡出土銅印」、有形文化財(建造物)「香取神宮勅使門」の3件を指定した。	1,040	リモート会議を導入し、審議会を開催した。	新型コロナウイルス感染拡大を受けて、リアル会議の開催が不可能になった。	教育庁 文化財課
62	指定候補文化財等調査事業	千葉県にとって重要な文化財を永く保護するため指定候補となる文化財調査及び既指定文化財の保存状況の調査を行う。	・指定候補文化財の調査として、香取神宮勅使門ほか計6件を調査した。 ・金鈴塚古墳ほか計10件について、指定文化財の保存状況調査を実施した。	-	コロナウイルス感染が拡大する中、可能な範囲で調査を実施した。	-	教育庁 文化財課
63	文化財保存整備助成事業	国及び県指定文化財の所有者が行う保存修理等に係る助成事業。	・所有者及び市町村が実施する国及び県指定文化財の保存修理等事業について、補助を行った。 ・国指定文化財については、重要文化財「法華経寺祖師堂」ほか計10件について補助した。 ・県指定文化財については、指定有形文化財「三菱銀行佐原支店旧本館」ほか計9件について補助した。	58,800	土砂災害により県指定文化財1件が毀損したため、災害復旧事業を1件追加して助成した。	-	教育庁 文化財課
64	文化財管理助成事業	国指定文化財の防災設備点検等の所有者が行う維持管理事業に係る助成事業。	・所有者が行う国指定文化財の防災設備点検等の維持管理事業について、補助を実施した。 ・重要文化財「西願寺阿弥陀堂附厨子」ほか計16件を対象とした。 ・山武市が実施する国天然記念物「成東東金食虫植物群落」の管理事業について補助を行った。	1,270	計画通り実施した。	-	教育庁 文化財課
65	史跡等購入助成事業	史跡を保存活用するために市町村が行う公有化の助成事業。	・史跡を保存活用するために市町村が行う公有化事業について補助を行った。 ・酒々井町の史跡「墨古沢遺跡」ほか計3件を対象として実施した。	3,890	補助事業者の公有化事業の進捗に即して補助した。	-	教育庁 文化財課

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
66	重要遺跡確認調査	県内に所在する重要遺跡について、遺跡の状況を把握し、保存・活用の資料とするため調査を実施する。併せて、県内で出土した遺物の保存処理を実施する。	県内に所在する重要遺跡について、遺跡の状況を把握し、保存・活用の資料とするため調査を実施した。併せて、県内で出土した遺物の保存処理を実施した。 ・いすみ市新田野貝塚の確認調査 ・県内重要出土遺物の保存処理 ・県内重要遺跡詳細分布調査(古墳)	2,005	・新田野貝塚の地形測量と確認調査を実施し、過去の調査範囲の一部を確認することができた。 ・古墳の詳細分布調査について、外部有識者で構成される委員会を立ち上げ、重要遺跡の選定基準等に関して検討を行った。また、現地踏査を実施し、遺跡の保存状況の確認を行った。 ・千葉市椎名崎古墳群出土の鉄鏃ほか7点の金属製品の保存処理を行った。	-	教育庁 文化財課
67	埋蔵文化財緊急調査助成	土地区画整理事業・土地改良事業・個人住宅建設等に伴う埋蔵文化財の発掘調査に対し、事業者の調査費用負担の軽減を図るため、調査費用の一部を助成する。	各種開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査に対し、事業者の調査費用負担の軽減を図るため、21市に対して調査費用の一部を助成した。	9,236	市原市ほか20市に対して、発掘費用総額の10%～12.5%を助成した。	-	教育庁 文化財課
68	不特定遺跡発掘調査助成	当該年度に計画された個人住宅建設等、事業者が個人若しくは中小企業等で調査費用の負担が困難な場合、事業者の負担軽減を図るため、調査費用の一部を助成する。	当該年度に計画された個人住宅建設等、事業者が個人若しくは中小企業等で調査費用の負担が困難と判断されたものについて、事業者の負担軽減を図るため、6市(10件)に対して調査費用の一部を助成した。	4,000	流山市東深井宿東第2遺跡ほか9件について、発掘調査及び整理作業・報告書の刊行にかかる費用の一部を助成した。	-	教育庁 文化財課
69	出土文化財管理活用事業(再掲)	発掘調査で出土した実物資料等を用い、出張展示・出前授業・体験学習指導等を実施するとともに出土品を利用した学習キットを作成し、特別支援学校への配付と気配布のキットをメンテナンスする事業。	出土文化財を活用した出前授業・体験学習等を実施した。(40件:小学校35件/中学校2件/特別支援学校3件/公民館等15件/学童等11件/イベント3件/貸出し7件(うち通年3件)) 作成した学習キットを必要な特別支援学校に配布し、配布済みの小学校向け学習キットのメンテナンスをおこなった。	3,822	前年度より回復傾向がみられたが、まだコロナ前の水準には戻り切っていない。	出張等事業要望自体はコロナ前の水準に戻つつある。	教育庁 文化財課
70	発掘調査現地説明会	地域の歴史や文化への関心・理解を促すため、発掘調査中の遺跡の状況や成果を公開する事業。	発掘調査の進捗等を勘案し、2か所程度で実施する予定だったが、調度タイミングの合う発掘調査が実施されている時期に蔓延防止措置が出ていたため、実施できなかった。代わりに紹介動画を作成し、年度内に公開した。	0	動画配信は今後も継続する計画である。	新型コロナウイルス感染症拡大のため、実施できなかった。	教育庁 文化財課

⑧ 文化的景観等の保全・活用

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
71	景観セミナー	良好な景観の形成に関する普及啓発及び知識の普及を図るため、県民等を対象として、県内各地で景観セミナーや研修会等を開催する。	回数:1回 令和3年度 第1回 景観セミナーin浦安 ～浦安景観まちづくり啓発事業10年を振り返る～ 開催概要 (1)日 時: 令和4年2月27日(日)13時00分～16時30分 (2)形 式: Zoomウェビナー(オンライン) (3)定 員: 100名(申込先着順、参加費無料) (4)内 容: ○講演: 窪田亜矢氏 ○活動紹介・パネルディスカッション等: コーディネーター 佐久間 康富氏(和歌山大学システム工学部准教授) パネリスト 窪田亜矢氏(東京大学生産技術研究所 特任研究員) 横山 茂氏(入船北エステート団地管理組合 元理事長) 横山 清美氏(浦安水辺の会 事務局長) 大和 稔氏(うらやす景観まちづくりフォーラム 代表) (5)主 催: 千葉県 共 催: うらやす景観まちづくりフォーラム 後 援: 浦安市	129	講演会、パネルディスカッションを実施し、景観づくりに関する理解を深めるとともに、地域の良好な景観の形成に対する意識の醸成を推進した。	新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し、オンライン形式で開催した。	県土整備部 公園緑地課
72	文化財探検隊	文化財をとおして郷土の自然と歴史、文化等に関して理解を深め、文化財保護の大切さを知る見学会。	日本遺産「北総四都市江戸紀行」構成市での実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、実施しなかった。	-	-	新型コロナウイルス感染症拡大のため、実施できなかった。	教育庁 文化財課

⑨ 文化資源の活用と地域の活性化

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
73	ちば文化交流ボックス(再掲)	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数:546,749人	-	県主催事業やちばの文化、新型コロナウイルス関連の情報を提供することができた。	-	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
74	文化プログラム関連イベント事業「ちば文化資産」PR事業(再掲)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①「ちば文化資産」に関連するお祭りのフォトコンテストの実施(6月～10月) ②観光部局と連携したフォトキャンペーンの実施(6月～9月、1月～3月) ③SNSの開設・運営(通年)、旅行雑誌への広告掲載(6月、11月)	5,066	SNSやWEBを積極的に活用することで、ちば文化資産を若い世代を中心にPRできた。	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により当初想定していた来訪を促進するキャンペーンができず、魅力を周知するPR事業に留まった。	環境生活部 県民生活・文化課
75	千葉県フィルムコミッション運営事業	映画等のロケーション誘致による地域知名度の向上や観光客の誘致、直接的な経済効果を目的に、以下の取組を行う。 (1)映像関係者に対する相談業務及び撮影支援 (2)市町村との連携強化及び市町村FCの設立の促進、ロケーション撮影の受入体制強化 (3)ロケ地を巡る旅であるフィルムツーリズムの促進、ロケ地と近隣の観光スポットを絡めた情報発信等 (4)映画、テレビ番組の誘致のための補助金に係る広報、申請受付、ロケ同行等	・映像制作関係者への撮影支援・ホームページ等による広報活動等の業務を、千葉県フィルムコミッション(※)に委託して実施したところ、100件近い撮影が県内で行われた。 (※平成14年度設立。ちば国際コンベンションビュロー内。) ・ホームページに文化施設の情報を掲載し、ロケーション誘致の促進を図った。	27,389	100件近い撮影が県内で行われ、旧堀田邸や屏風ヶ浦等の文化財でも撮影が行われた。	-	商工労働部 観光誘致促進課
76	観光イベントブック「ちばnote」作成事業	本県の旬の観光・レジャー情報を掲載し、県民等向けに観光情報を広くPRしている。	【「ちばnote」の発行】 ・回数:3回 ・内容:県内の観光施設・レジャー情報 ・主な対象:県民等 ・配布先:鉄道駅、道の駅、宿泊施設、地方銀行、県立博物館・美術館等	9,940	歴史や文化を学べる博物館等を紹介した。	通年で楽しめる施設等を紹介した。	商工労働部 観光誘致促進課
77	日本遺産魅力発信推進事業	日本遺産に認定されたストーリーを地域全体として一体的に整備・活用し、国内外へ効果的に発信する文化庁の補助事業。平成28年度、本県で認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」について、情報発信や人材育成などの事業を行う。	・千葉県、佐倉市、成田市、香取市、銚子市等により結成する「日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会」が、情報発信等事業を実施した。 ・教育旅行誘致事業、イベントへのブース出展、ロゴマーク活用事業、デジタルマップ・ホームページ更新を実施した。 ・成田空港活用協議会との連携による観光商談会に参加した。教育旅行誘致事業については126校の実績があった。	100	コロナウイルス感染が拡大する中、県内学校に対し県内における校外学習の行先として、北総四都市の文化財を推奨したところ、多くの学校が利用した。	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、旅行商談会等については成果を上げることができなかった。	教育庁 文化財課
78	日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会交付金	日本遺産に認定されたストーリーを地域全体として一体的に整備・活用し、国内外へ効果的に発信する文化庁の補助事業。今年度、本県で認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」について、情報発信や人材育成などの事業を行う。	・千葉県、佐倉市、成田市、香取市、銚子市等により結成する「日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会」の活動資金として、交付金を交付した。	100	-	-	教育庁文化財課
79	県有文化財管理活用事業	郷土の文化財に対する理解を深めるとともに、文化・観光資源としての文化財の公開活用を促進するため、市町村や関係機関等との連携により、千葉県指定有形文化財「千葉県立安房南高等学校旧第一校舎」の管理・公開事業を実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で現地開催は断念したが、代替え企画として建築の専門家によるリモート講演会を現地からの配信で実施した。	1,462	現地開催の場合、ある程度参加者の居住地が制限されるが、オンライン開催の場合は、広報の状況により、より広いエリアの方に参加してもらうことができる。今回の試みは、従来より広い範囲の視聴者を得ることができた。	現地での開催は中止。オンライン講演会を実施した。	教育庁文化財課

施策の柱3 ちば文化の多様性と発信力強化による新たな価値の創出 ～多様な「ちば文化」の魅力を引き出し発信するために～

⑩ 多様な文化の発展

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
80	文化プログラム関連イベント事業「千葉・県民音楽祭」(再掲)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。	世代や障害の有無に関わらず、様々な方が共にステージを作り上げる一般参加型コンサート「千葉・県民音楽祭」を開催。公募したアマチュア演奏家や地域で活動する団体、千葉交響楽団などのプロアーティストが共演。オーケストラ演奏、合唱、ダンス、音楽活動を行う障害のある方々によるステージのほか、プロのアーティストによるステージなど、多様な音楽を披露した。 ・出演者：千葉交響楽団・プロアーティスト(ダンサー、邦楽囃子方、テノール歌手等)・楽器演奏者・県内障害者団体・合唱団体・ダンス団体 ・日程・会場：6月20日、千葉県文化会館 ・当日ライブ配信、アーカイブ配信(8月12日～10月30日)も実施 ・来場者：814名 ・当日ライブ配信・アーカイブ配信 視聴者数：1,820名	15,571 (全額繰越)	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、座席収容率を制限する一方、より多くの方に視聴していただけるようオンライン配信を実施し、障害の有無を超えた音楽やちば文化に触れる機会を提供した。 ・より多様なコンテンツとなるよう、ダンス団体の公募を追加したほか、ゲスト出演のプロアーティストも義足のダンサーや邦楽演奏者等を招いた。	座席の収容率を65%程度にして実施した。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
81	若者の文化芸術活動育成支援事業(再掲)	若者による創造的な文化芸術活動に対し補助し、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行おうとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。	若者の文化芸術活動育成支援事業補助金申請内容を審査し、補助金を交付した。 ・補助対象事業の実施期間：6月1日～2月28日 ・補助対象：40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費：2/3以内(上限20万円) ・補助金交付団体数：【申請数】7団体7事業/【交付数】5団体5事業	994	5団体5事業が実施され、県民に様々な分野の文化芸術に触れる機会を提供し、また、文化芸術の発表の機会を設けることにより、文化振興に寄与した。	新型コロナウイルス感染症の影響で、1団体が事業中止となった。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
82	県立文化会館自主事業、管理運営事業(再掲)	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法：公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計)：378,315名 ・利用事業数(4館合計)：3,507件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	645,687	県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	新型コロナウイルス感染症の影響により一部公演の中止・変更が発生した。また、公演の入場者数の制限を実施した。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
83	さわやかちば県民プラザ事業(ヤングパワームーブメント)(抜粋)	若者の自主的な活動を広く世間に広めていくために発表の機会を提供する。ボランティア活動・文化創作活動・体験活動を実践している県内の若者の活動の成果発表の場を提供する。	・概要：若者の社会参画を推進し、SDGsをテーマに自らが実践できることを考え、行動を起こし、活動をまとめ発表した。 ・回数：全6回(オンライン)・期間：7月24日(土)～2月19日(土)・場所：オンライン開催・来場者：県内高校生、大学生(83人)(オンライン)	98	高校生、大学生が自ら考えたSDGsに関する取り組みを企画し、その取り組みについての注意点や改善点などを講師からのアドバイスを受けることで、質の良い活動へしていくことができた。発表にまとめることで、自らの取り組みを総括しかつ次につなげることができた。またオンラインでのプレゼン方法を学ぶことができた。	全ての回をオンラインで実施した。	教育庁生涯学習課

⑪ 「ちば文化」の魅力の発掘と情報の収集・提供

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
84	文化プログラム関連イベント事業「ちば文化資産」PR事業【再掲】	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①観光部局と連携したフォトキャンペーンを実施した。(1月7日～3月31日、応募数4,679件) ②SNSやHPにより1年を通して「ちば文化資産」や関連情報の周知を図った。 ③オリンピック・パラリンピック関連事業や商業施設と連携し、各施設でパネルやポスター等を掲示したほか、パンフレット等を配布しPRを行った。	-	「ちば文化資産」に関連したキャンペーンの実施や商業施設との連携、SNSの活用等により、ちばの文化的魅力を多くの方に周知できた。	-	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
85	ちば文化交流ボックス(再掲)	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数:546,749人	-	県主催事業やちばの文化、新型コロナウイルス関連の情報を提供することができた。	-	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
86	博物館情報システム事業	県立博物館が所蔵する資料のデータベース・デジタルミュージアムの構築と公開、情報発信事業	県立博物館・美術館のホームページにおいて収蔵資料約41万件を公開し、それらをストーリー性のある番組として構成されたデジタルミュージアムを公開。 番組数:88件	34,616	県立博物館が所蔵する資料のデータベース・デジタルミュージアムの構築と公開、情報発信により、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」に寄与した。	-	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
87	ふさの国文化財ナビゲーションシステム	国・県指定文化財と周知の埋蔵文化財包蔵地の地理情報及び関連情報をインターネット上で、広く県民に提供しているシステムの整備を行う。	・埋蔵文化財包蔵地の新発見・範囲変更等に伴うデータ更新を年3回行った。 ・管理システムの保守・管理を行った。	561	指定文化財の追加8件、埋蔵文化財包蔵地の新発見24件、範囲変更27件、軽微な変更33件のデータ更新を行い、公開した。	-	教育庁 文化財課

⑫ 「ちば文化」の魅力を発信する文化事業の充実

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
88	文化プログラム関連イベント事業 「ちば文化資産」PR事業【再掲】	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①観光部局と連携したフォトキャンペーンを実施した。(1月7日～3月31日、応募数4,679件) ②SNSやHPにより1年を通して「ちば文化資産」や関連情報の周知を図った。 ③オリンピック・パラリンピック関連事業や商業施設と連携し、各施設でパネルやポスター等を掲示したほか、パンフレット等を配布しPRを行った。	-	「ちば文化資産」に関連したキャンペーンの実施や商業施設との連携、SNSの活用等により、ちばの文化的魅力を多くの方に周知できた。	-	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
89	県民の日事業	県民が千葉の魅力を再発見し、郷土愛を育み、千葉アイデンティティーを醸成する機会とするため、「県民の日」を記念する行事を県内各地で実施する。また、県民の日中央行事として、幅広い世代の県民が楽しめる参加・体験型のイベントを実施する。	①県民の日ちばワクワクフェスタ2021 新型コロナによりオンライン開催に変更して5月23日に実施 参加者17,753人 ②地域行事:11件 ※一律の中止等と判断せず、実施方法の見直しや感染防止対策を徹底 ③賛同行事:市町村や民間企業等を対象に、令和2年12月から令和3年7月まで募集し、パンフレット等を作成して広報を行った。	65,034	①オンライン開催としたことで、例年より多くの方が参加できた。 ②地域行事については、各地域がコロナウイルス対策として、オンライン開催や非接触、消毒液の設置を心掛け、これまでのスタンプラリー・バスツアー等の形を柔軟に変更して実施することができた。	①オンライン開催としたため、市町村による物販や体験ができなかった。 ②山武地域でオンラインでの行事開催(クイズツアー)、安房地域で「あわ夢まつり」がオンライン開催となる等の影響があった。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
90	国民文化祭周知・派遣	毎年、各県持ち回りで開催される国民文化祭について、県内に周知するとともに、県内団体の派遣に伴う事務を行う。	宮崎県(令和2年度延期分)と和歌山県で開催。 ・宮崎県「第35回国民文化祭・みやざき2020、第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会」(令和3年7月3日～10月17日) ・和歌山県「第36回国民文化祭・わかやま2021、第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会」(令和3年10月30日～11月21日)	-	和歌山県開催の国民文化祭について、新型コロナウイルス感染症の影響により、開会式に視察の受け入れがなかった。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課	
91	「ゆめみるチーバくん」ダンス関連事業	千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」と共に「千葉アイデンティティ」の醸成と魅力発信を目指すため、また、県民に広く芸術(舞踏)に親しむ機会を創出するため、チーバくんキャラバン隊が「ゆめみるチーバくんダンス」をイベントや県内の学校等を訪問して普及する。	県内小中高等学校や保育・高齢者施設、県主催イベントなどにおいて、着ぐるみを用いて「ゆめみるチーバくんダンス」の普及活動を実施。 回数:198回、期間:4月1日～3月31日、場所:県内外各地	11,777	チーバくんのダンスを通して、県民に広く芸術(舞踏)に親しむ機会を提供することができた。	-	総合企画部 地域づくり課

施策の柱4 総合的な推進のための支援・連携体制の構築 ～「ちば文化」を支えるひとを育て、つなぐために～

⑬ 「ちば文化」を担うひとづくりの推進

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
92	公立文化施設担当者研修会	県内の文化施設の設置者及び運営者に対し、文化施設の管理運営業務に関する情報提供を図る目的で、研修会を開催する。	県内の文化施設の設置者及び運営者に対し、研修会を開催した。 日時:令和4年1月19日(水) 会場:千葉県文化会館 テーマ:「地震等災害時の文化施設における業務継続計画、施設のリスクマネジメント」 講師:空間創造研究所 代表 草加叔也氏 参加者:40名	37	本事業の実施により、文化施設の管理運営に携わる職員等に対し、災害時及び緊急事態における危機管理についての啓発及び情報提供を行うことができた。	-	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
93	若者の文化芸術活動育成支援事業(再掲)	若者による創造的な文化芸術活動に対し補助し、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行おうとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。	「若者の文化芸術活動育成支援事業補助金」申請内容を審査し、補助金を交付した。 ・補助対象事業の実施期間:6月1日～2月28日 ・補助対象:40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費:2/3以内(上限20万円) ・補助金交付団体数:【申請数】7団体7事業/【交付数】5団体5事業	994	5団体5事業が実施され、県民に様々な分野の文化芸術に触れる機会を提供し、また、文化芸術の発表の機会を設けることにより、文化振興に寄与した。	新型コロナウイルス感染症の影響で、1団体が事業中止となった。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
94	表彰の実施	千葉県において文化の振興に関し特に功績の顕著であった個人又は団体の候補者を表彰する。	令和3年度推薦実績 ・教育功労者表彰(教育長):個人2名、1団体 ・文化の日千葉県功労者表彰(知事):個人1名 ・地域文化功労者(文部科学大臣):1団体	-	推薦者は全員表彰が決定し、被表彰者が活動する文化芸術分野の活性化に寄与した。	-	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課

⑭ 文化のネットワークの構築

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
95	文化活動ボランティアネットワーク	文化情報ポータルサイト「ちば文化交流ボックス」内に「文化活動ボランティアネットワーク」のページを設け、文化活動ボランティアをしたい方とお願いしたい方の両者を結びつける手助けをする。	登録情報の更新と文化活動ボランティアをしたい方とお願いしたい方のマッチングを行った。 ・文化活動ボランティア登録数:58件 ・文化活動ボランティア依頼件数:16件	-	文化活動ボランティアをしたい方、お願いしたい方双方が文化活動に関わる機会を提供した。	-	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
96	千葉県芸術文化団体協議会	昭和45年に設立され、本県の文化芸術に係る県域・市町村団体を総括する唯一の団体。	【芸術文化フォーラム】中止 【文化芸術功労表彰】加盟団体からの推薦により8名を表彰 【芸文教ちば】1回発行(2号合併号)	-	・芸術文化フォーラム:中止 ・文化芸術功労表彰:フォーラムは中止となったが、理事会の際に受賞者の紹介を行うことで、文化の振興に寄与した。 ・新型コロナ	・芸術文化フォーラムの中止	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
97	子どもの読書活動の推進(再掲)	「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)」に基づき、乳幼児期からの読書活動を推進し、子どもが自主的に読書に親しむことができる環境の整備を進めていく。主な取組として、読み聞かせや家庭読書のさらなる普及を目指し、リーフレットの作成・配付や「子ども読書の集い」の開催などの啓発活動を行う。また、公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。	○リーフレットの作成・配付 概要:家庭における読書を啓発するための資料(リーフレット)の作成・配付 期間:令和3年8月 配付先と部数:乳幼児47,765枚、小学校1年生48,235枚 ○子ども読書の集い 概要:子どもの読書活動への関心を高めるとともに、その意義や重要性について理解を深め、家庭・地域や学校における子どもの読書活動の推進を目指す。 期間:令和3年5月15日(土) 場所:千葉県文化会館小ホール 主催:千葉県教育委員会 来場者:一般県民45名 ○学校図書館・公立図書館連携研修会 概要:学校図書館を活用した授業の推進や子どもの読書活動の推進のため、学校図書館と公立図書館の効果的な連携の在り方について考える。 期間:令和3年10月1日(金)～令和4年1月7日(金) 場所:オンライン ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響で動画配信に変更 主催:千葉県教育委員会 視聴者数:学校図書館及び公立図書館関係者685回	661	学校図書館・公立図書館連携研修会については、開催方法に変更が生じたが、動画配信にしたことで、県内の多くの学校図書館・公立図書館関係者に視聴してもらうことができ、学校図書館と公立図書館の効果的な連携の在り方を考えるきっかけづくりができた。また、リーフレットの作成・配付や子ども読書の集いの開催を通じて、子どもの読書活動の啓発を行うことができた。	学校図書館・公立図書館連携研修会については、新型コロナウイルス感染症による影響で、対面での開催から動画配信へと開催方法を変更した。	教育庁 生涯学習課
98	千葉県無形民俗文化財連絡協議会(再掲)	国・県指定の無形民俗文化財保持団体を会員とする団体で、「房総の郷土芸能」、特定ジャンルの民俗芸能上演会の公開事業や会報の発行等の事業を実施。	・指定無形民俗文化財の実施スケジュール等を掲載した会報を発行した。 ・「松戸の万作踊り」の記録映像作成を実施した。	202	計画通り動画作成を行った。	-	教育庁 文化財課

⑮ 多様な支援体制の構築

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
99	千葉・県民芸術祭(再掲)	県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	①千葉・県民芸術祭県域文化団体行事 県域で活動する文化芸術団体による絵画や詩、俳句、川柳、写真などの分野を中心とした公募展や合唱、吹奏楽、演劇などの公演等を共催。 事業数:全24件、期間:7月20日～1月10日、場所:県立美術館・文化会館など(全県)、関係者:文化芸術団体(全23団体)、来場者(合計):一般県民等(32,675名) ②【千葉・県民芸術祭中央行事】 複数の文化芸術分野の文化団体等と連携して新たな文化芸術の発表の場を設ける。日程:10月3日(日)、場所:千葉県文化会館、関係者:(公財)千葉県文化振興財団・県域で活動する文化芸術団体等(10団体)、来場者:一般県民等(987名・入場無料)	5,261	一部行事については中止となったものの、新型コロナウイルスの感染症対策を取り入れて行事を実施することができた。また、参加行事をまとめたパンフレットを作成し配付するなど、広報活動を実施し、「県民の自主的な文化芸術活動の促進」に寄与した。	①新型コロナウイルスの影響で3行事が中止となった。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
100	文化振興事業の後援	県民の文化芸術活動を支援するため、文化芸術活動に関する公演や展覧会等の行事に対して、県後援名義の使用承認を行う。	名義後援89件	-	県民の文化芸術活動の支援に寄与した。	-	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
101	ちば文化交流ボックス(再掲)	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数:546,749人	-	県主催事業やちばの文化、新型コロナウイルス関連の支援情報を提供することができた。	-	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課

⑯ 文化発信拠点としての文化施設等の機能の充実

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
108	県立文化会館自主事業・管理運営事業(再掲)	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法:公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計):378,315名 ・利用事業数(4館合計):3,507件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	645,687	県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	新型コロナウイルス感染症の影響により一部公演の中止・変更が発生した。また、公演の入場者数の制限を実施した。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
109	さわやかちば県民プラザ事業(再掲)	音楽ワークショップ、東葛飾文化祭、ザ・ワールドオブプラス、クリスマスコンサート、高校生バンドフェスティバル、書のパフォーマンス発表会、さわやかアゴラコンサートなどを実施する。	県民の自主的な文化活動の促進及び文化活動の機会の提供に向けて4事業を実施した(3事業は新型コロナウイルス感染拡大のため中止)。全ての事業はさわやかちば県民プラザ主催、さわやかちば県民プラザで実施し、入場料は無料。 ①音楽ワークショップ ・概要:「柏の葉吹奏楽団」を結成し、オーケストラの体験講座を実施した。発表の場として晩秋のコンサート、新春のコンサートを実施した。・回数:練習全15回中12回実施、コンサート2回・期間:5月22日～3月5日・連携団体:千葉県吹奏楽連盟、柏の葉吹奏楽団・来場者:団員、一般県民(1218人) ②東葛飾文化祭:中止 ③ザ・ワールドオブプラス:中止 ④クリスマスコンサート ・概要:県内の小中高等学校、特別支援学校の吹奏楽部が日ごろの練習の成果を発表した。・日程:12月11日(土曜日)・来場者:発表関係者(248名) ⑤高校生バンドフェスティバル ・概要:県内の高校生バンドが演奏を披露するコンサートを実施した。・日程:12月25日(土曜日)、26日(日曜日)・来場者:一般県民(145人) ⑥書のパフォーマンス発表会:中止 ⑦さわやかアゴラコンサート ・概要:日曜のお昼に県民プラザ利用者等によるコンサートをアゴラで行った。・回数:全5回中3回実施・期間:6月27日(日曜日)、10月24日(日曜日)、12月19日(日曜日)・来場者:一般県民(114人)	381	参加者自らが創り上げる文化活動を支援するとともに、文化活動が多くの県民に触れる場となるよう広報も工夫した。	新型コロナウイルス感染拡大のため中止した講座があった。実施した講座においては入場者制限を行い、3密にならないよう十分に注意して対策を講じた。	教育庁 生涯学習課

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
110	県立図書館事業	①県民への情報提供、図書の貸出・返却及び資料管理を的確かつ迅速に行うため、電算処理による図書館情報システムを導入し、円滑な運用を図る。 ②県民の読書や調査研究活動の支援と市町村立図書館等への協力・援助のために、書籍の収集整備をする。 ③子どもへの本の読み聞かせや読書の重要性について一層の理解を深めてもらうため、読み聞かせのボランティア活動を行う方などを対象に、子どもの本の読み聞かせについての講座を開催するほか、特別支援学校に対し、おはなし会や運営相談等の読書支援を実施する。 ④県民が身近な市町村立図書館等を通じて県立図書館及び他の市町村立図書館の資料が利用できるよう、県内公共図書館間に情報と物流のネットワークを構築して運用している。また、高等学校・特別支援学校には、資料搬送車や宅配便による資料の貸出しを行っている。	①図書館情報システムの運用 電算処理によるシステム(平成29年11月更新)を活用し、個人や図書館等への貸出、蔵書管理、所蔵資料情報の公開等を継続して行い、円滑に運用している。 ②書籍の収集整備 市町村立図書館等では購入しづらい専門書や参考書を中心に11,300冊を購入整備した。 ③-1 読み聞かせボランティア入門講座 ・期間:5月30日,10月23日 ・回数:2回 ・場所:九十九里町,我孫子市 ・参加者(合計):一般県民等(36名) ③-2 特別支援学校訪問読書支援 ・期間:通年 ・回数:17校 ・場所:各特別支援学校 ・参加者(合計):特別支援学校教職員・児童・生徒等(936名) ④図書館ネットワークの構築・運用 県内図書館や県立学校等へ図書館ネットワークを通じて202千冊の貸出しを行った。	132,103	①図書館情報システムを導入することで、次のような利用実績があった。 ・ホームページのアクセス数:361,949件 ・Web予約件数:75,185件 ②収集した図書について、次のような利用実績があった。 ・個人貸出冊数:128,989冊 ・図書館等への協力貸出:91,990冊 ③地域の子どもや特別支援学校児童生徒の読書環境向上に寄与することができた。 ④ 県内図書館や県立学校等へ図書館ネットワークを通じて202千冊の貸出しを行うことにより文化振興に寄与した。	③-1 感染症拡大防止のため、会場定員の半分以下の人数を募集した。 ③-2 感染症拡大防止のため訪問を中止した学校に対しては、絵本の貸出しや利用促進のための案内の送付を行った。	教育庁 生涯学習課
111	県立学校開放講座	県立学校が保有する優れた教育機能を地域に開放し、多様化、高度化及び専門化する県民の学習要求に応え、生涯学習の振興に資するとともに開かれた学校づくりを促進する。	・開講数:3校3講座 ・内容:書道、科学実験、野菜の栽培等	170	新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となった講座が多数あった。実施した講座については、人数制限や消毒等、感染症対策を講じた上での実施となった。	新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となった講座が多数あった。	教育庁 生涯学習課
112	県立学校施設開放事業	県立学校の文化施設や、学校開放を目的として建設された地域交流施設等の開放を行い、生涯学習関連団体等の活動支援を行う。	・実施場所6校(文化施設4校、交流施設2校)	1,553	新型コロナウイルス感染症の影響で、開放を中止した施設があった。開放を実施した施設については、人数制限や消毒等、感染症対策を講じた上での実施となった。	新型コロナウイルス感染症の影響で、開放を中止した施設があった。	教育庁 生涯学習課
113	県立美術館・博物館事業(再掲)	5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	各館の特色を生かして、博物館では千葉県自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数:529,110名	932,099	千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	-	環境生活部 スポーツ・文化局 文化振興課
114	千葉フィールドミュージアム事業	地域の自然や文化そのものを資料として考えた新たな博物館事業。	「山」は中央博物館、「川」は中央博物館大利根分館と関宿城博物館、「海」は中央博物館分館海の博物館を拠点に観察会・見学会等を実施。 事業数:全9件、参加者:301名	6,237	地域の自然や文化そのものを資料として考えた新たな博物館事業により、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2事業が中止となった。	環境生活部 スポーツ・文化局 文化振興課

施策の柱5 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたちばの文化力向上 ～更なる発展に向けて～

⑰ 新しい文化と古くからの文化が織りなす「ちば文化」の世界への発信

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
115	文化プログラム関連イベント事業「千葉・県民音楽祭」	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。	世代や障害の有無に関わらず、様々な方が共にステージを作り上げる一般参加型コンサート「千葉・県民音楽祭」を開催。公募したアマチュア演奏家や地域で活動する団体、千葉交響楽団などのプロアーティストが共演。オーケストラ演奏、合唱、ダンス、音楽活動を行う障害のある方々によるステージのほか、プロのアーティストによるステージなど、多様な音楽を披露した。 ・出演者:千葉交響楽団・プロアーティスト(ダンサー、邦楽囃子方、テノール歌手等)・楽器演奏者・県内障害者団体・合唱団体・ダンス団体 ・日程・会場:6月20日、千葉県文化会館 ・当日ライブ配信、アーカイブ配信(8月12日～10月30日)も実施 ・来場者:814名 ・当日ライブ配信・アーカイブ配信 視聴者数:1,820名	15,571 (全額繰越)	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、座席収容率を制限する一方、より多くの方に視聴していただけるようオンライン配信を実施し、障害の有無を超えた音楽やちば文化に触れる機会を提供した。 ・より多様なコンテンツとなるよう、ダンス団体の公募を追加したほか、ゲスト出演のプロアーティストも義足のダンサーや邦楽演奏者等を招い	座席の収容率を65%程度にして実施した。	環境生活部 スポーツ・文化局 文化振興課

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
116	文化プログラム関連イベント事業 「ちば文化資産」PR事業	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①観光部局と連携したフォトキャンペーンを実施した。(1月7日～3月31日、応募数4,679件) ②SNSやHPIにより1年を通して「ちば文化資産」や関連情報の周知を図った。 ③オリンピック・パラリンピック関連事業や商業施設と連携し、各施設でパネルやポスター等を掲示したほか、パンフレット等を配布しPRを行った。		- 「ちば文化資産」に関連したキャンペーンの実施や商業施設との連携、SNSの活用等により、ちばの文化的魅力を多くの方に周知できた。		環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
117	文化プログラム関連イベント事業 「ちばアート祭」	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○ちばアート祭 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」を会場や作品のテーマとして活用し、あらゆる人々が参加・体験できるアートイベントを開催する。	①作品公募 「ちば文化資産」をテーマとした絵画や写真作品を公募した。 ・募集期間: 令和4年2月～5月10日 ・応募点数: 2,932点 ②イベント開催 公募作品の展覧会や屋外アート作品展及びチームラボ作品展、ワークショップを実施した。また、公募作品がインターネットからも見られるようHPでも作品を公開した。 ・期間: 7月31日～9月5日 ・会場: 県立美術館、千葉ポートタワー、千葉ポートパーク、ペリエ千葉 ・来場者数: 延べ30,295名	161,392 (全額繰越)	- 「ちば文化資産」をテーマとした作品の公募を行ったことにより、子どもから大人まで様々な方にアートやちば文化に触れる機会を提供することができた。 ・イベントの開催により、ちばの文化的魅力を多くの方に周知できた。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、当初予定していた内容を縮小したほか、一部会場では入場制限を実施した。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
118	文化プログラムの申請	東京2020大会の機運醸成や関係機関等との新たな関係性の構築、「ちば文化」の発信等を図るため、組織委員会が行う「東京2020公認プログラム(文化プログラム)」等への申請や当該プログラムの周知を行う。	東京2020大会の機運醸成や関係機関等との新たな関係性の構築、「ちば文化」の発信等を図るため、組織委員会が行う「東京2020公認プログラム(文化プログラム)」等への申請や当該プログラムの周知を行った。 ・令和3年度公認文化プログラム認証事業数: 2件 ・東京2020 NIPPONフェスティバル共催プログラム認証事業数: 1件		- 県主催事業も後任文化プログラム等として承認され、「ちば文化」の振興の一層の推進を図ることができた。		環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
119	beyond2020プログラムの申請	国と東京都が一体となって推進する文化プログラムであるbeyond2020プログラムについて、関係機関等へ周知し、様々な団体が実施する文化事業が認定を受けることで、本県での多様な文化芸術活動の展開を促進する。	beyond2020プログラムについて、関係機関等へ周知し、様々な団体が実施する文化事業を認定し、本県での多様な文化芸術活動の展開を促進した。 ・県内認証数: 65件(内、県が認証したもの: 57件)		- 新型コロナ対策を実施したほか、オンライン開催といった方法を取り入れて実施するなど、従来の開催方法にとらわれずより多くの人に触れることができるよう工夫して実施できた。	新型コロナウイルス感染症の影響により規模の縮小・中止となった事業があった。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課

⑱ 障害者、高齢者、青少年、外国人等、国内外のあらゆる人々が参加・交流できる機会の創出

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
121	県民の日事業 (再掲)	県民が千葉の魅力を再発見し、郷土愛を育み、千葉アイデンティティを醸成する機会とするため、「県民の日」を記念する行事を県内各地で実施する。また、県民の日中央行事として、幅広い世代の県民が楽しめる参加・体験型のイベントを実施する。	①県民の日はワクワクフェスタ2021 新型コロナによりオンライン開催に変更して5月23日に実施 参加者17,753人 ②地域行事: 11件 ※一律の中止等と判断せず、実施方法の見直しや感染防止対策を徹底 ③賛同行事: 市町村や民間企業等を対象に、令和2年12月から令和3年7月まで募集し、パンフレット等を作成して広報を行った。	65,034	①オンライン開催としたことで、例年より多くの方が参加できた。 ②地域行事については、各地域がコロナウイルス対策として、オンライン開催や非接触、消毒液の設置を心掛け、これまでのスタンプラリー・パスツアー等の形を柔軟に変更して実施することができた。	①オンライン開催としたため、市町村による物販や体験ができなかった。 ②山武地域でオンラインでの行事開催(クイズツアー)、安房地域で「あわ夢まつり」がオンライン開催となる等の影響があった。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
122	千葉・県民芸術祭 (再掲)	県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	①千葉・県民芸術祭県域文化団体行事 県域で活動する文化芸術団体による絵画や詩、俳句、川柳、写真などの分野を中心とした公募展や合唱、吹奏楽、演劇などの公演等を共催。 事業数: 全24件、期間: 7月20日～1月10日、場所: 県立美術館・文化会館など(全県)、関係者: 文化芸術団体(全23団体)、来場者(合計): 一般県民等(32,675名) ②【千葉・県民芸術祭中央行事】 複数の文化芸術分野の文化団体等と連携して新たな文化芸術の発表の場を設ける。日程: 10月3日(日)、場所: 千葉県文化会館、関係者: ((公財)千葉県文化振興財団・県域で活動する文化芸術団体等(10団体)、来場者: 一般県民等(987名・入場無料)	5,261	一部行事については中止となったものの、新型コロナの感染症対策を取り入れて行事を実施することができた。また、参加行事をまとめたパンフレットを作成し配付するなど、広報活動を実施し、「県民の自主的な文化芸術活動の促進」に寄与した。	①新型コロナの影響で3行事が中止となった。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
123	若者の文化芸術活動育成支援事業 (再掲)	若者による創造的な文化芸術活動に対し補助し、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行おうとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。	「若者の文化芸術活動育成支援事業補助金」申請内容を審査し、補助金を交付した。 ・補助対象事業の実施期間:6月1日～2月28日 ・補助対象:40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費:2/3以内(上限20万円) ・補助金交付団体数:【申請数】7団体7事業/【交付数】5団体5事業	994	5団体5事業が実施され、県民に様々な分野の文化芸術に触れる機会を提供し、また、文化芸術の発表の機会を設けることにより、文化振興に寄与した。	新型コロナウイルス感染症の影響で、1団体が事業中止となった。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
124	文化プログラム関連イベント事業 (再掲)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○千葉・県民音楽祭 一般公募による参加者とプロオーケストラ「千葉交響楽団」が共演する一般参加型コンサートを実施する。	世代や障害の有無に関わらず、様々な方が共にステージを作り上げる一般参加型コンサート「千葉・県民音楽祭」を開催。公募したアマチュア演奏家や地域で活動する団体、千葉交響楽団などのプロアーティストが共演。オーケストラ演奏、合唱、ダンス、音楽活動を行う障害のある方々によるステージのほか、プロのアーティストによるステージなど、多様な音楽を披露した。 ・出演者:千葉交響楽団・プロアーティスト(ダンサー、邦楽囃子方、テノール歌手等)・楽器演奏者・県内障害者団体・合唱団体・ダンス団体 ・日程・会場:6月20日、千葉県文化会館 ・当日ライブ配信、アーカイブ配信(8月12日～10月30日)も実施 ・来場者:814名 ・当日ライブ配信・アーカイブ配信 視聴者数:1,820名	15,571 (全額繰越)	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、座席収容率を制限する一方、より多くの方に視聴していただけるようオンライン配信を実施し、障害の有無を超えた音楽やちば文化に触れる機会を提供した。 ・より多様なコンテンツとなるよう、ダンス団体の公募を追加したほか、ゲスト出演のプロアーティストも義足のダンサーや邦楽演奏者等を招いた。	座席の収容率を65%程度にして実施した。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
125	文化プログラムの申請 (再掲)	東京2020大会の機運醸成や関係機関等との新たな関係性の構築、「ちば文化」の発信等を図るため、組織委員会が行う「東京2020公認プログラム(文化プログラム)」等への申請や当該プログラムの周知を行う。	東京2020大会の機運醸成や関係機関等との新たな関係性の構築、「ちば文化」の発信等を図るため、組織委員会が行う「東京2020公認プログラム(文化プログラム)」等への申請や当該プログラムの周知を行った。 ・令和3年度公認文化プログラム認証事業数:2件 ・東京2020 NIPPONフェスティバル共催プログラム認証事業数:1件	-	- 県主催事業も後任文化プログラム等として承認され、「ちば文化」の振興の一層の推進を図ることができた。	-	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
126	beyond2020プログラムの申請 (再掲)	国と東京都が一体となって推進する文化プログラムであるbeyond2020プログラムについて、関係機関等へ周知し、様々な団体が実施する文化事業が認定を受けることで、本県での多様な文化芸術活動の展開を促進する。	beyond2020プログラムについて、関係機関等へ周知し、様々な団体が実施する文化事業を認定し、本県での多様な文化芸術活動の展開を促進した。 ・県内認証数:65件(内、県が認証したもの:57件)	-	- 新型コロナ対策を実施したほか、オンライン開催といった方法を取り入れて実施するなど、従来の開催方法にとらわれずより多くの人が触れることができるよう工夫して実施できた。	新型コロナウイルス感染症の影響により規模の縮小・中止となった事業があった。	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
127	「#ちよいボラ」キャンペーン	身近なことでできる“ちよっとした”ボランティアのことを「#ちよいボラ」とし、主に東京2020で外国人等へ配布する「おもてなしグッズ」を作成する「ちよいつく」、自由提案型のちよいボラ「ちよい〇〇」をキャッチフレーズに推進する。	東京2020大会期間中に来県者等へ配布する「おもてなしグッズ」や自由提案型のちよいボラ「ちよい〇〇」の活動報告を募集し、県ホームページに掲載することで、「#ちよいボラ」の普及促進を図った。 なお、「おもてなしグッズ」については、選手や大会関係者を始め、東京2020大会関連行事の来場者等に配布を行った。 ・おもてなしグッズ 報告19件、約15,000点	-	- 広報媒体等による周知により、あらゆる方々に「おもてなしグッズ」の作成に取り組んでいただき、「#ちよいボラ」を普及することができた。	-	環境生活部 県民生活課

⑱ 観光等様々な分野との連携による文化資源の活用

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
128	文化プログラム関連イベント事業 「ちば文化資産」PR事業 (再掲)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①観光部局と連携したフォトキャンペーンを実施した。(1月7日～3月31日、応募数4,679件) ②SNSやHPIにより1年を通して「ちば文化資産」や関連情報の周知を図った。 ③オリンピック・パラリンピック関連事業や商業施設と連携し、各施設でパネルやポスター等を掲示したほか、パンフレット等を配布しPRを行った。	-	- 「ちば文化資産」に関連したキャンペーンの実施や商業施設との連携、SNSの活用等により、ちばの文化的魅力を多くの方に周知できた。	-	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
129	千葉県フィルムコミッション運営事業 (再掲)	映画等のロケーション誘致による地域知名度の向上や観光客の誘致、直接的な経済効果を目的に、以下の取組を行う。 (1)映像関係者に対する相談業務及び撮影支援 (2)市町村との連携強化及び市町村FCの設立の促進、ロケーション撮影の受入体制強化 (3)ロケ地を巡る旅であるフィルムツーリズムの促進、ロケ地と近隣の観光スポットを絡めた情報発信等 (4)映画、テレビ番組の誘致のための補助金に係る広報、申請受付、ロケ同行等	・映像制作関係者への撮影支援・ホームページ等による広報活動等の業務を、千葉県フィルムコミッション(※)に委託して実施したところ、100件近い撮影が県内で行われた。 (※平成14年度設立。ちば国際コンベンションビュロー内。) ・ホームページに文化施設の情報を掲載し、ロケーション誘致の促進を図った。	27,389	100件近い撮影が県内で行われ、旧堀田邸や屏風ヶ浦等の文化財が活用された。	-	商工労働部 観光誘致促進課

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
130	観光イベントブック「ちばnote」作成事業	本県の旬の観光・レジャー情報を掲載し、県民等向けに観光情報を広くPRしている。	【「ちばnote」の発行】 ・回数:3回 ・内容:県内の観光施設・レジャー情報 ・主な対象:県民等 ・配布先:鉄道駅、道の駅、宿泊施設、地方銀行、県立博物館・美術館等	9,940	歴史や文化を学べる博物館等を紹介した。	通年で楽しめる施設等を紹介した。	商工労働部 観光誘致促進課
131	「グリーン・ブルーツーリズム in ちば」推進事業	農林水産業に対する都市住民の理解促進や都市と農山漁村の交流を促進し、県及び地域が一体となった農山漁村の活性化を図る。農林水産物直売所及び農林漁業体験施設等のPRや関係者向け研修会を開催しグリーン・ブルーツーリズムを促進する。	①、「ちばの直売所フェア2021」の開催 令和3年12月15日～令和4年2月15日の63日間、オンラインで開催し、県内農林水産物直売所67店舗が参加した。プレゼント企画には1,563人がアドレス登録し、有効応募総数は7,234件であった(複数応募可の企画)。 ②農泊研修会(オンライン開催) 都市住民と農山漁村の交流活動を一層推進することを目的に、令和4年3月2日、農泊研修会をオンラインで開催し、「コロナ禍における農泊による新たな地域づくりの可能性」をテーマに、(一社)日本ファームステイ協会事務局長に講演をいただいた。農林漁業者や自治体職員の計23名の出席があった。	8,013	農林水産業や農産漁村に対する都市住民の理解促進が図られた。	新型コロナウイルス感染症への対策のため、直売所フェアはオンラインにより実施した。	農林水産部 流通販売課
132	食のおもてなし力向上事業(再掲)	2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、国内外からの観光客のさらなる増加が見込まれる中、食に関しての魅力ある観光地づくりとおもてなし力の向上を図るため、本県ならではの食の魅力として「郷土料理」に着目し、観光客が本県の誇る郷土料理を知り、味わえる環境づくりを進める。	「ちばの郷土料理」の魅力をより多くの方に知っていただくため、ちばの郷土料理の魅力や、郷土料理を扱う飲食店・直売所など30店舗を掲載したパンフレットを令和4年1月15日から、県内の道の駅などで配布するとともに、県HPIに掲載した。	2,312	千葉の食文化である郷土料理の認知度向上が図られた。	-	農林水産部 流通販売課
133	「千葉の海」丸ごと満喫事業	都市と漁村の交流促進、水産物の消費拡大による漁村の活性化を図るため、観光キャンペーンと連携した水産物直売所のPR等を展開する。	県内の水産物直売所等を紹介する「新鮮!ちばの海の幸!水産物直売所マップ」の作成・配付 ・作成部数:100,000部(NEXCO版45,000部、JR版55,000部) ・配布先:JR主要駅、高速道路SA・PA、水産物直売所、道の駅等	3,100	県内の水産物のご当地料理を多くの人に紹介することができた。	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令を受け、10月25日から配布を開始した。	農林水産部 水産課
134	日本遺産魅力発信推進事業(再掲)	日本遺産に認定されたストーリーを地域全体として一体的に整備・活用し、国内外へ効果的に発信する文化庁の補助事業。平成28年度、本県で認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」について、情報発信や人材育成などの事業を行う。	・千葉県、佐倉市、成田市、香取市、銚子市等により結成する「日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会」が、情報発信等事業を実施した。 ・教育旅行誘致事業、イベントへのブース出展、ロゴマーク活用事業、デジタルマップ・ホームページ更新を実施した。 ・成田空港活用協議会との連携による観光商談会に参加した。教育旅行誘致事業については126校の実績があった。	100	コロナウイルス感染が拡大する中、県内学校に対し県内における校外学習の行先として、北総四都市の文化財を推奨したところ、多くの学校が利用した。	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、旅行商談会等については成果を上げることができなかった。	教育庁 文化財課

⑳ 文化プログラム関連イベントの実施により得られた資源の活用

No.	事業名	事業概要	令和3年度				担当部署名
			実施結果	決算額 (千円)	実施結果に対する評価 (成果等)	特殊事項 (台風・新型コロナウイルス感染症による影響等)	
135	ネットワークの構築	文化プログラムの実施を通じて新たに結ばれる団体と施設とのネットワークを、その後の事業展開に活かす。	【ちば文化(芸術)振興懇談会】の開催 「第2次ちば文化振興計画」の進捗状況や、条例に基づく文化芸術推進基本計画の策定にあたりご意見をいただいた。 ・開催回数:3回(9月、1月、3月) ・委員11名(学識経験者、芸術家・芸術団体、文化施設、観光等)	3,909	条例に基づく新計画の策定にあたりご意見をいただき、令和4年3月に「千葉県文化芸術推進基本計画」を策定した。	-	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
136	ちば文化交流ボックス(再掲)	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数:546,749人	-	県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	-	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課
137	文化プログラム関連イベント事業「ちば文化資産」PR事業(再掲)	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①観光部局と連携したフォトキャンペーンを実施した。(1月7日～3月31日、応募数4,679件) ②SNSやHPIにより1年を通して「ちば文化資産」や関連情報の周知を図った。 ③オリンピック・パラリンピック関連事業や商業施設と連携し、各施設でパネルやポスター等を掲示したほか、パンフレット等を配布しPRを行った。	-	「ちば文化資産」に関連したキャンペーンの実施や商業施設との連携、SNSの活用等により、ちばの文化的魅力を多くの方に周知できた。	-	環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課